

矢張り左の手袋として場所  
所にその都市は在る。」

●ヴァーミリオンサンズ  
内宇宙SF  
の第一人者、J.G.バ  
ラードが作った幻想人工  
都市。--それは心の中の  
エキゾチックな郊外に在  
るといふ。(『ヴァーミ  
リオンサンズ』/早川書  
房。絶版!残念!)



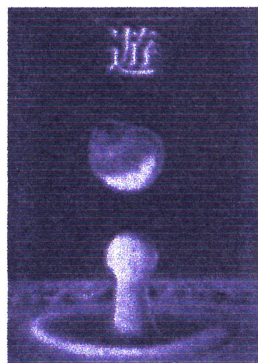
稲垣足穂  
(1900~1977)

●宇宙文学作品群

- 『一千一秒物語』
- 『天体嗜好症』
- 『星を売る店』
- 『彗星倶楽部』
- 『童話の天文学者』
- 『宇宙論入門』
- 『ロバチェフスキー空間を旋りて』
- 『僕のユーリカ』
- 『私の宇宙文学』
- 『北極光』他。

●六月の夜の都会の空  
『星を売る店』、『美の  
はかなさ』、『弥勒』  
(『一千一秒物語』/  
新潮文庫)等に頻出。

●ファンタシウム  
その昔、電気のように四  
辺に充ちて樹木や水や、  
生物体に作用していた夢  
が凝結したもの。夢の元  
素のようなもの、らし  
い。語感が美しい。



●『遊』(工作舎)  
創刊号(1971~82)  
キャッチコピーは「遊星  
的郷愁を求めて」。杉浦  
康平グラフィズム光る、

の感覚は自分にも確かにあった。』-(イナガキ・タルホ/「弥  
勒」「美のはかなさ」「一千一秒物語」)

“この感覚”とは何か?、タルホによれば、それは「何かを忘れて  
いるな」と思う感覚。「たった今のことでなく、ずっと以前から自  
分がよく知っている或物が含まれているような気がするもの」であ  
り、それは「折ふしに頭脳の片隅を訪れる奇異な郷愁的騷り」であ  
る。そして「我自らを含むすべての事物が、何もかも“何処でもな  
い所”へ遠ざかりつつあるような、またそれによってこちら側に  
迫ってくるような、

遼遠な消息」であるという。

それはまた、「一幼年の頃、たとえば覚束な夕暮時の戸外で脇明  
けに手を入れて、ひとりで佇んでいる折などに、我身の小とももの  
内側同士が擦れ合う感触に、なにか遠い天体に通じるような、それ  
とも「死」と想わせるような、甘い遺るかたのない寂寥の念を覚え  
た、と江戸川乱歩が回想記に書いている。その不思議などこかへ吸  
い込まれてしまいそうな孤独感(「少年愛の美学」)-と語られる  
感覚でもある。

「デジャヴ(既視感)」、或いはベンヤミンの「アウラ」と  
いったような心像を想起させる気配も在るのだが、しかしどうだろ  
う?これらの概念の持つ何処か三次元的限界を超えたものが此処に  
は、在りはしないだろうか?-むしろこれは、アインシュタインが  
人間に備わる特殊な宇宙感情について語っている一文、「-それは  
宗教やもっと深い意味での芸術、科学の根底にあるものなのだ。こ  
の段階を私は宇宙的宗教感情と名づけよう。この感情の無縁な人に  
それがどんなものであるかを説明するのは難しい。-(アイン  
シュタイン「科学論集」)に非常に近いものだと私は思う。

タルホは、「これらの不思議な懐かしさは、カントの“Ding an  
Sich”(物自体)、ショーペンハウエルの“意志”、ライプニッ  
ツの“单子”(モナド)にも相応する。」-(「少年愛の美学」・  
他)と直感し、この一種の永遠癖を「宇宙的郷愁」と呼んだ。「宇  
宙的郷愁」とはタルホが最も重要視した主題であり、全作品に、雲  
母の破片の如く眩しく散りばめられている。そのファンタシウム  
の芳香は数多くの人々を魅きつけて止まず、比類なき文学たる  
由縁になっている。その後、この感覚は、晩年のタルホと親交深  
かった松岡正剛氏によって「遊星的郷愁」と進化。氏が創刊し  
た、オヴジェマガジン“遊”へと継承されていったのである。

この、時を超えてflowしている“ある感覚”。その消息を直観  
で了解する方もいらっしゃる事と思う。なる程「六月の夜の都会の  
空」にはそういう消息が在ったのだ。-そして当然の事ながら、  
21世紀のコスモロジー・ニュースにもこのファンタシウムの香気  
と遊星的郷愁が在ることを、我々は既に知っているのだと思う。

★

ニュースを知り、改めてタルホを読むと、興味深い相似性を発見し  
た。スペースも限られているので簡単な表記に留めるが、興味がお  
ありの方は御自分で確かめて見てほしい。

NOOS V.S. TARUPHO

- |             |             |
|-------------|-------------|
| • 論理的       | • 感覚的       |
| • 比類なき異質性   | • 比類なき異質性   |
| • 非付帯質的方向性  | • 非付帯質的方向性  |
| • ホログラム的    | • ホログラム的作品  |
| • 幾何学的精神    | • 幾何学的精神    |
| • キュービズム    | • キュービズム、ダダ |
| • 非ユークリッド空間 | • 非ユークリッド空間 |

(ロバチェフスキー大好きタルホ)